

緑化検討委員会 設立趣意書

国土交通省では、安全で円滑かつ快適な道路交通を確保するため効果的な維持修繕や日常的な点検管理に努めている。

関東地方整備局横浜国道工事事務所が管理する、一般国道1号の藤沢市から小田原市にある松並木は、約400年前の街道改修時に植栽され、幕府や藩主により厳しい管理のもと立ち枯れしたものは、村々毎に植替えられるなど大切に育成されてきている。

しかし、近年高樹齢化（幹周 = 100 ~ 350 cm）等のため風による枝の落下や台風による倒木が報告されるなど道路交通への影響が顕在化しており、その保全と将来的な景観を考慮した計画的な管理手法の検討が課題となっている。

本委員会は、上記課題にたいして、一般国道1号の藤沢市から小田原市に生育する「東海道松並木」のクロマツを対象に一般道路利用者の安全、沿道環境を考慮した効果的な維持管理手法の検討を行うことを目的とする。

緑化検討委員会

委員長	千葉大学園芸学部緑地・環境学科 教授	丸田 頼一
委員	千葉大学園芸学部園芸別科 助手	近江 慶光
委員	ヨコハマ樹木診断協会会長	横山 一平
委員	茅ヶ崎の文化財を守る会 世話人会代表	岡崎 周
委員	財団法人 かながわトラストみどり財団 湘南地区推進協議会会長	久保寺久雄
委員	国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部 緑化生態研究室長	
委員	神奈川県県土整備部 道路管理課長	
委員	茅ヶ崎市都市部 都市整備課長	
委員	大磯町都市経済部 都市整備課長	
委員	二宮町建設部 建設課長	
委員	小田原市建設部 公園緑地課長	
委員	国土交通省関東地方整備局道路部 道路管理課長	
委員	国土交通省関東地方整備局 横浜国道工事事務所長	

1. 検討委員会実施方針

本委員会は、国土交通省関東地方整備局横浜国道工事事務所が管理している一般国道1号の東京都大田区多摩川地先から神奈川県足柄郡箱根町地先の管理延長(横浜新道、箱根新道、西湘バイパス等をのぞく)77.0kmのうち、特にクロマツが集中している藤沢市城南から小田原市酒匂の約26.7kmを対象に、現況の道路用地内で改善が可能な、一般国道利用者への安全、沿道環境および道路交通への影響を考慮した維持管理手法の検討を行うことを目的として実施する。

2. 検討対象

2-1 対象範囲

自)神奈川県藤沢市城南1丁目地先(54.000km)

至)神奈川県小田原市酒匂5丁目地先(80.700km)

本委員会の対象範囲を図-2.1に示す。

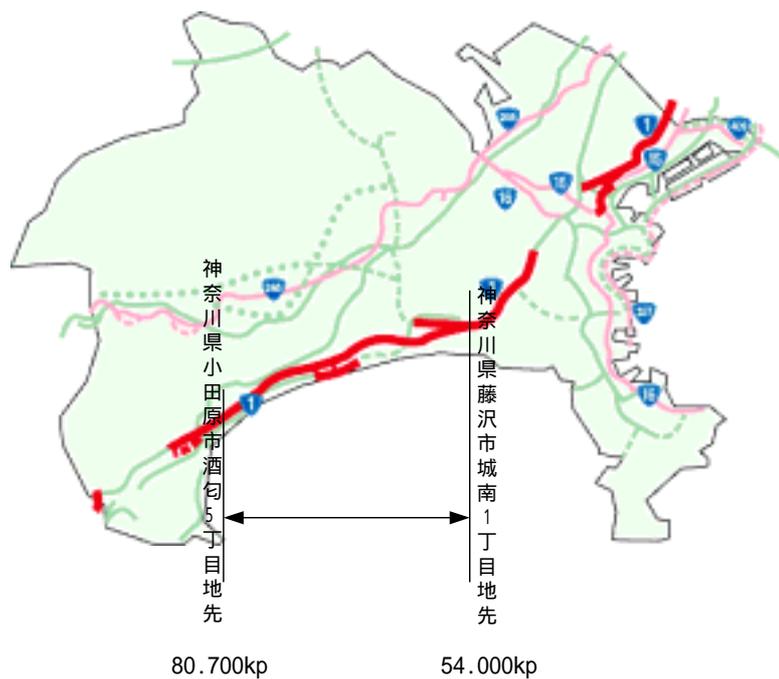


図-2.1 国道一号対象範囲概略図

2 - 2 対象樹木

検討対象範囲とするクロマツは730本（平成14年3月現在）であり、茅ヶ崎、大磯町、小田原市に残る歴史的に古いと見られる並木や近年植栽されたものでまで樹齡的には様々なクロマツが生育している状況を写真 - 2 . 1 ~ 5 に示す。

【歴史的に古いと見られるクロマツ並木】



写真 - 2 . 1 茅ヶ崎高校前（茅ヶ崎市）



写真 - 2 . 2 大磯中学校前（大磯町）



写真 - 2 . 3 酒匂小学校前（小田原市）

【近年植栽されたクロマツ】



写真 - 2 . 4 羽鳥交番付近下り（茅ヶ崎市）



写真 - 2 . 5 サティ付近（茅ヶ崎市）

2 - 3 委員会の流れ

委員会の流れを図 - 2 . 2 に示す。

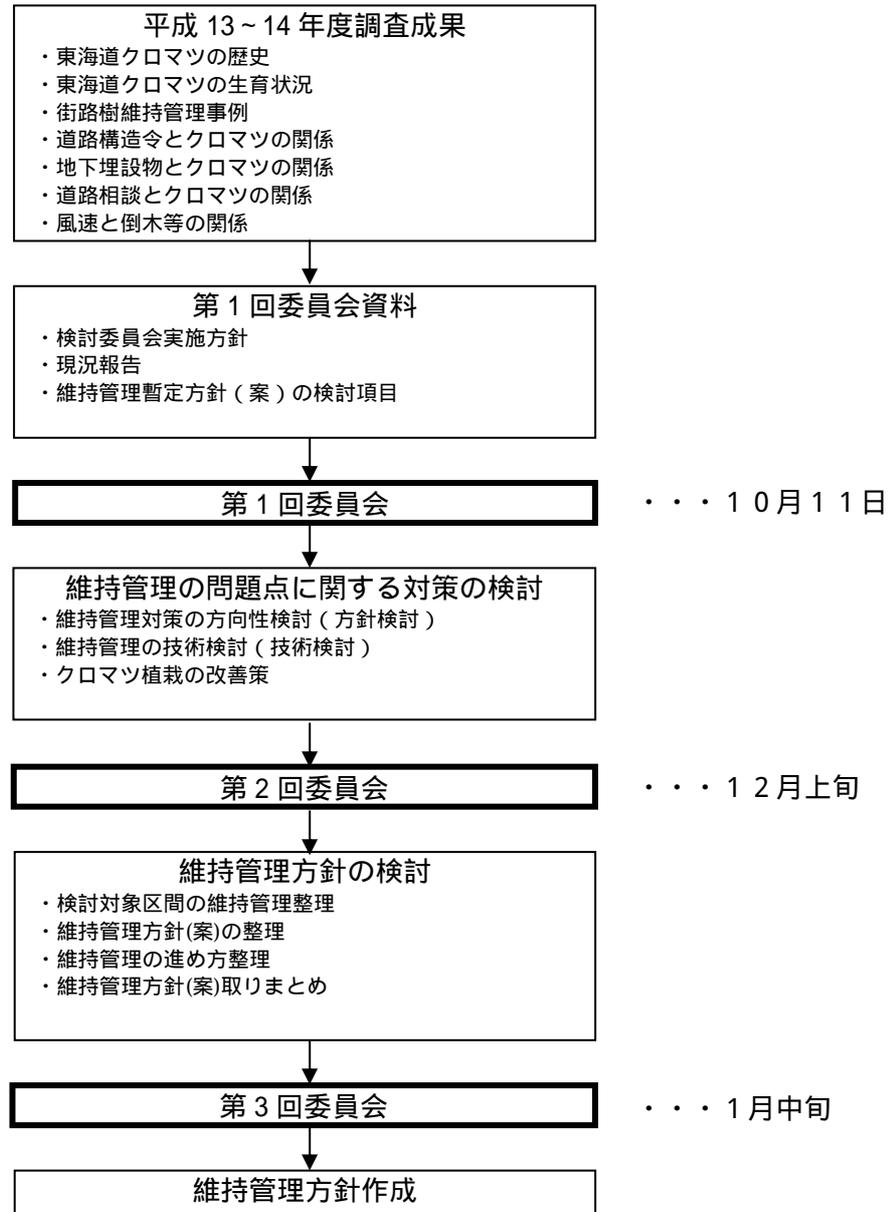


図 - 2 . 2 検討委員会の流れ